

# トランスコスモス（タイ） バンコク移住について調査結果



（調査期間：2018年8月15日～2018年8月23日実施）



# 1. タイで働くきっかけ。入社前渡航歴

タイで働くきっかけはタイへ移住をしたい、海外で就職をしたい思いが行動させたという結果。少数派の意見であっても根底には海外（タイ）で就職・移住ということをしたいという思いがあったのではないのでしょうか。

中にはちょっと訳ありな感じの回答もありますが、元々はタイへ移住をしたい、海外で就職をしたいという強い思いがあったからこそ実現しているのではないのでしょうか。

## 1-1. タイで働くきっかけ

タイで働くきっかけ	人数
海外（タイ）へ移住・就職希望	10
友人・知人紹介	8
就職が決まった	4
家族の都合・配偶者がタイ人	2
なんとなく	2
前職で海外出張が多かった	2
タイが容易そう・楽しそう	2
日本で働きたくない	1
新しいことに挑戦	1
人生を楽しむ	1
逃げてきました	1
今、行かないと一生行けないと思った	1
タイが好き	1
LOVE	1
旅行目的	1
ボンビーガールを見て	1
夜遊びにはまった。	1
勢い	1
生活費が必要だった	1
過去に住んでいた。	1
お金がなくなった	1
外国語を使つての仕事をしたい	1
特になし	1
合計	46



※複数回答あり

## 2. TCTでよかったこと。TCTと住みやすさ満足度。

トランスコスモス（タイ）でよかったことはVISAやWP（労働許可証）等が充実しているがダントツ。続いて、立地・交通の便がいい、職場内の人間関係等が回答が上位。又、休日の取得が取りやすい、早く帰れるといった勤務条件の柔軟さでON/OFFの切り替えができることも魅力の一つかな。

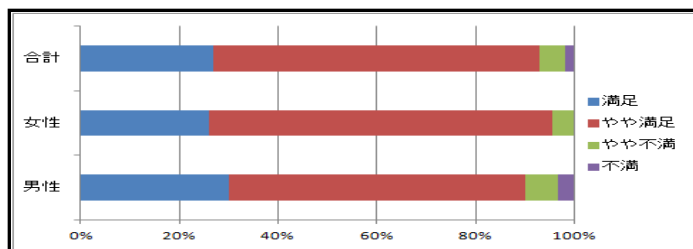
### 2-1.TCTでよかったこと

TCTでよかったこと	人数
VISA・WP（労働許可証）等が充実	12
立地・交通の便が良い	9
職場の人間関係・人が良い・出会いがあった	9
休日が多い・休みが取りやすい・自由がきく	6
日本語対応の仕事・日本語を忘れない	4
頑張れば評価・インセンティブ	2
オフィスワークの経験が積める	1
バンコクで安定して働けた	1
変わっている人	1
思ったことを発言して良い	1
日本のようなタイのような	1
日本人担当タイ人スタッフが良い	1
早く帰れる	1
眺望が良い	1
社員になった	1
色々と出会いがあった	1
貧乏な生活を学べた	1
特になし	2
未回答	9
Grand Total	64

※複数回答あり

### 2-2.バンコク暮らしの満足度

性別/満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	合計
男性	9	18	2	1	30
女性	6	16	1		23
不明		3			3
合計	15	37	3	1	56



バンコクの住みやすさの満足度は回答者の90%以上の方が満足と回答。男女での差はほとんどない。それぞれが快適に過ごされていることが分かった。



### 3. コールセンター経験。渡航歴。

コールセンター経験は約7割の方がいない。

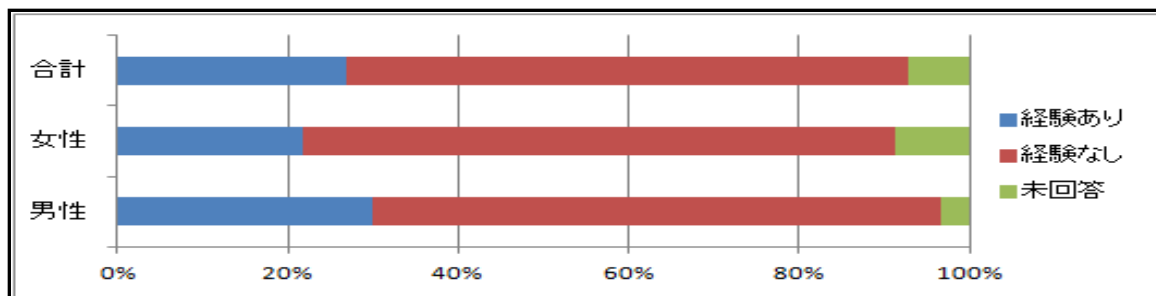
海外移住に興味を持った方がネット検索やSNS・友人等の紹介を通じて就職先を探し、バンコク移住へとたどりついた感じです

#### 3-1.性別/滞在歴（人）

性別/滞在歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	5年以上	未回答	合計
男性	2	2	3	8	14	1	30
女性	2	2		2	14	3	23
未回答	1			1		1	3
合計	5	4	3	11	28	5	56

#### 3-2.性別/コールセンター経験（人）

性別/経験	経験あり	経験なし	未回答	合計
男性	9	20	1	30
女性	5	16	2	23
不明	1	1	1	3
合計	15	37	4	56



#### 3-3.入社前渡航回数

渡航回数	人数	割合
0	7	12.5%
1	5	8.9%
2	6	10.7%
3	3	5.4%
4	2	3.6%
5	4	7.1%
6	1	1.8%
7	1	1.8%
8	4	7.1%
10	9	16.1%
11回以上	7	12.5%
未回答	7	12.5%
合計	56	100.0%

入社前渡航回数で0回の方が1割以上いらっしゃる。意外と多い結果。初めての海外が旅行ではなく移住をする決意がすごい!!!



# 4. 住みやすさ。バンコク暮らしの長所・短所。

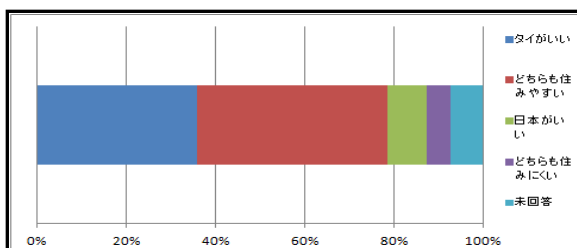
タイと日本、どっちが住みやすい!!!

結果はタイの方が住みやすいという結果。

タイがいいは38%越えてでどちらも好きを入れれば82%以上となります。日本がいいと答えた方は全体の10%弱、どちらも好きを入れても55%程度となり圧倒的にタイのほうが暮らしやすいという結果となっています。

## 4-1.タイと日本、どっちが住みやすい

比較	人数	割合
タイがいい	20	35.7%
どちらも住みやすい	24	42.9%
日本がいい	5	8.9%
どちらも住みにくい	3	5.4%
未回答	4	7.1%
合計	56	100.0%



## 4-2.バンコク暮らしでの長所・短所 (人)

長所	人数
暖かい・冬がない	14
タイ人が優しい・フレンドリー	6
日本ほどちゃんとしていない・アバウト	5
物価が安い	5
まあま治安が良い・都会的・賑やか	4
気楽・楽・毎日、夏休み風・自由	5
食費・屋台が安い	3
便利・移動が楽	3
アジアへの旅行が容易	2
細かい事を気にしない	2
花粉症・黄砂がない	2
日本食；日本文化がたくさん	2
日本人が住みやすい・日本人が多い	2
何でも揃う・買い物が便利	2
すべて紙一重	1
交通費が安い	1
人との出会い	1
全て	1
夜遊べる	1
弱者にとっても優しい	1
悩むのがおかしく感じる	1
慣れるとあまり変わらない	1
食べ物が美味しい	1
なし	1
未回答	10

短所	人数
街が汚い・道が汚い	11
排気ガス・空気が悪い・臭い	9
雨期・湿度が高い	8
道路渋滞・電車混雑遅延	5
適当なところ・いい加減・ゆるい・雑	5
物価が高い・日本食が高い	4
野良犬・ねずみ・虫が多い	4
道がデコボコで歩きにくい	3
暑い	2
騒音	2
言語の壁・意思疎通が大変	2
売り物が雑・質が悪い	2
イライラする	1
エアコンが強い	1
サービスが劣る	1
すべて紙一重	1
タイ人のペースが許せないことがある	1
テロが起きると不便	1
なかなか家族・友人に会えない	1
一年中Tシャツで冬服が着れない	1
変な日本人が多い	1
日本人が多い	1
水が合わない	1
質が悪い	1
未回答	10

※複数回答あり

# 5-1. 休日の過ごし方①

普段の休日の過ごし方は「家でのんびり・寝る」という回答が一番多い。  
 上位の回答では家でのんびりやショッピングやお出かけになる回答が多い。運動等をされる方もいるが少数派であった。  
 行動を分類すると自宅でのんびり派と街に出かけショッピングや食べ歩き派と小旅行を楽しむ派に分かれる結果。あなたはどっち派かな？

タイ国外へ旅行される方は回答者の6割程度。各プロジェクトの閑散期や年末年始の一斉休暇を利用しているのではないのでしょうか。  
 タイ国内で宿泊を伴う旅行は回答者の8割以上で日帰り旅行（71%）をする回答より多かった。

## 5-1. 普段の休日の過ごし方（人）

普段の休日の過ごし方	人数	回答割合
家でのんびり・寝る	12	21.4%
家事・掃除・洗濯	9	16.1%
カフェめぐり・食べ歩き・飲みに行く	7	12.5%
ショッピング	6	10.7%
運動・ジム・ランニング	6	10.7%
読書・語学学習	4	7.1%
ショートトリップ・	4	7.1%
家族や子供とお出かけ	4	7.1%
自宅でゲーム	2	3.6%
マーケットに行く	2	3.6%
散歩・ぶらぶらする	2	3.6%
インドア	1	1.8%
マッサージ	1	1.8%
元気があれば釣り	1	1.8%
外出	1	1.8%
日本のテレビを見る	1	1.8%
稽古	1	1.8%
未回答	10	17.9%
合計	74	

※複数回答あり



## 5-2. 国外旅行回数（回/年）

国外旅行回数	人数
0	13
1	13
2	7
3	3
4	1
5回以上	1
未回答	18
合計	56

## 5-3. 国内宿泊旅行回数（回/年）

国内旅行回数	人数
0	7
1	13
2	6
3	10
4	4
5回以上	5
未回答	11
合計	56

## 5-4. 国内日帰り旅行回数（回/年）

旅行回数（日帰り）	人数
0	11
1	10
2	3
3	1
4	5
5回以上	8
未回答	18
合計	56

## 5-2. 休日の過ごし方②

おすすめの行き先としてラオス、ミャンマーが人気。その以外ではベトナム・インド・カンボジア。マレーシア・シンガポールとなる。アジア以外の国をおすすめとする回答は少数派。

タイ国内旅行（宿泊あり）はパタヤ・サメット島、ホアヒン、チェンマイが多数派。

タイ国内旅行（日帰り）もパタヤ、アユタヤをおすすめされる方が多い。

国内旅行では宿泊を伴う場合は海に関するところが多く、日帰りではバンコク周辺の観光地やパタヤが人気ってところですよ。

聞きなれない地名も多くあり一度みなさんも、googleって見てください。

後日、Blogかなんかでも特集できたらと思っています。（あくまでも予定ですが）

日本への一時帰国は年1回が最も多く、回答の6割程度であった。全く帰国されない方は2割程度。

### 5-5.おすすめのタイ国外旅行

行き先（国外）	人数
ラオス	5
ミャンマー	4
インド	3
シンガポール	2
ドイツ	2
マレーシア	2
カンボジア・シェムリアップ	2
ロシア	1
アメリカ	1
クロアチア	1
バングラディシュ	1
フィリピン	1
ホーチミン	1
台湾	1
東南アジア全般	1
韓国	1
未回答	34
合計	63



### 5-6.国外旅行（宿泊）

行き先（宿泊あり）	人数
パタヤ	8
サメット島	7
チェンマイ	5
ホアヒン	5
海・島	4
プーケット	3
クラビ	2
カオヤイ	1
カンチャナブリ	1
サンクラブリー	1
ソングラー	1
タオ島	1
ナコンラチャシマー	1
ノンカーイ	1
パーイ	1
バーンラック	1
ハジャイ	1
ビビ島	1
プーチーファー	1
メイホーソン	1
ラノーン	1
ラン島	1
寝台列車の旅	1
未回答	29
合計	79

※複数回答あり

### 5-7.国外旅行（日帰り）

行き先（日帰り）	人数
パタヤ・パタヤ周辺	7
アユタヤ	4
カンチャナブリ	2
ナコンパトム	2
ラン島	2
PILOT川	1
アユタヤの水上マーケット	1
アンパワー	1
ウォンエンヤイからの終点	1
エラワン滝	1
クレット島	1
ゲングラチャンダム	1
サメット	1
サラブリー県のバサック	1
ジョンラジットダム	1
チャーム	1
ノンタブリー	1
バーンセン	1
パンカーン	1
パンカチャーオ	1
ブラチュワップキーリーカン	1
ミンブリー	1
ワットポー	1
未回答	37
合計	72

### 5-8.帰国回数（回/年）

帰国回数	人数
0	10
1	28
2	6
3	0
4	1
5回以上	2
未回答	9
合計	56

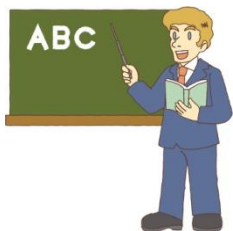
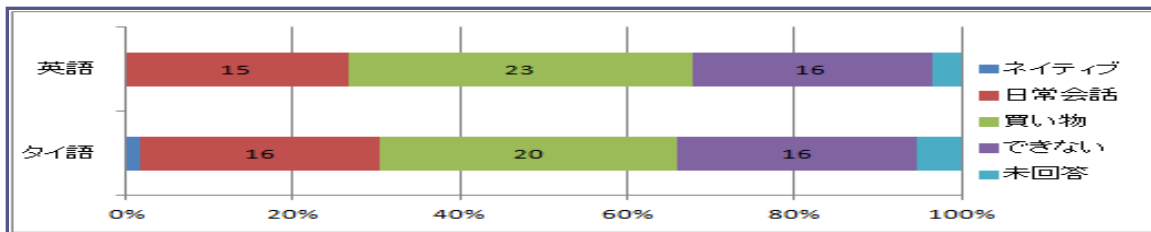


# 6. 語学について。習い事について。

語学についてはタイ語・英語では同じような結果。日常会話についてはタイ語のほうが多い。住んでいる間に自然と身についたかも。

## 6-1. 語学レベルについて (人)

レベル/人数	ネイティブ	日常会話	買い物	できない	未回答	合計
タイ語	1	16	20	16	3	56
英語	0	15	23	16	2	56



習い事している方はタイ語で数名のみ。

通いたい習い事はタイ語・英語・料理教室・ソーブカービングとさまざま。

語学に関しては通うのではなく自宅で独学するのがメインではないでしょうか。

タイでは日本にはない本格的なタイマッサージやタイ料理の料理学校やムエタイなんかもありますよね。

語学学校やその他のスクール関係で詳しい情報やおすすめなんかあれば一報ください。



ก	ข	ค	จ	ฉ
ka/ga	kha/ga	ga/ka	ga	nga
ส	ซ	ด	ต	ถ
sa/za	sha/za	za	ai	gna
ท	ธ	ร	ล	น
ta/da	tha/da	da	da	na
ด	ต	ด	ด	น
ta/da	tha/da	da	da	na
ป	ฟ	บ	ผ	ม
pa/ba	pha/ba	ba	ba/pha	ma
ย	ว	ล	ว	อ/อ
ya	ya	la	wa	0a/0a
ฮ	ล	ร		
ha	la	ra		



# 7. タイ生活に関する情報の収集源

タイ暮らしに関する情報源はNET検索がダントツ。回答者の65%の方が回答。休憩時間や電車の中で時間があるときに簡単に。

続いてはフリーペーパーとなっている。

新聞離れといわれている現代であるにもかかわらずみなさんWiseやDACOを見ているんだね。中でも週1回、最大発行部数を誇るwiseが一番人気かな。

10年ぐらい前だと、海外の観光地に行くと「地球の歩き方」を持っている人を良く見かけ「日本人がいた」って感じだったけど、今ではほとんど見かけなくなったね。



## 7-1. タイ暮らしの情報源 (人)

情報源	人数	割合
NET検索	36	64.3%
フリーペーパー	25	44.6%
口コミ	19	33.9%
SNS	17	30.4%
ガイドブック	4	7.1%
その他	3	5.4%
全て	2	3.6%
未回答	3	5.4%
合計	109	

※複数回答あり

## 7-3. よくみるSNS (人)

SNS名	人数	割合
FACEBOOK	21	37.5%
instagram	14	25.0%
Blog	12	21.4%
TWITTER	11	19.6%
その他	1	1.8%
見ない	7	12.5%
未回答	14	25.0%
合計	80	

※複数回答あり

よく見ているSNSはFACEBOOKがダントツ。最近は減少傾向といわれているがまだまだ健在だね。

トランスコスモス(タイ)でもBlogとtwitterのアカウントがあり、ちよくちよく更新されているのでたまには見に来てね。

「バンコクで働こ」で検索すると、直ぐに出てくるから。。。

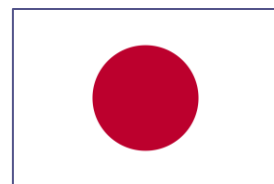


# 8. これからバンコクへこられる方への一言

回答していただいた方のバンコク暮らしでの経験値はまちまちではあるが役に立つ意見がいっぱいあるはずです。

長所・短所は紙一重。同じ内容であっても受ける側の感じ方や見方で間逆になります。今回は皆さんからの意見をそのままの原文のまま掲載しました。これからタイ・バンコクへ移住される方や今、住んでいる方への参考になるのではないのでしょうか。

これからたい・バンコクへ移住される方へ一言。
日本にないアジアの活気を存分に味わえます
タイに来た事がない、元々タイが好きでない方は旅行で1回きってみるとか。
SNSなどで情報収集したほうがいい
勢いが大事
日本での経験を活かせる仕事につきましょう
世界観が広がるよ
目的を持ってタイに来ればオススメです。
日本はとて素晴らしい国です。
目的がないと流されてしまう人が多いです
都心部に住むのは便利。ローカルの方が静かで不便もないのでオススメ
良く考えて
日本とは全く考え方が違うので自分の考えをキッチリ持って来たほうが良い
貯金をしておこう
現在は日本にいるのと変わらない。便利になった。
本能での行動はNG
日本のルールは海外では通用しません
高層マンションもいいですがタイに住んでいるのに日本と同じ環境ではできないことに限界がありもったいない。どんどんタイ社会を楽しんで欲しい
危険なところには近づかない
移動は日本より便利
迷っているならば挑戦してください。
目標がないとダラダラとなる日本と同じ金銭感覚だと破産する
外国人を受け入れてくれる気質がある。気軽に来てください
日本でしんどくなったらタイへ
考えるより行動を！
初期費用が必要なので貯金が必要
タイ料理は美味しい。人は穏やか。住み心地いいところです。
タイ人には見習うところはないので、そのつもりで
衛生面では問題はあるけど、ゆる〜く、のんびりした気分を味わいたいならオススメです。
日本に居るよりは楽しく感じると思います。
タイ語は覚えたほうが良い
新しい自分を見つけてください。有り余る時間の使い方は自分次第です
約束は守られるとは思った方がよい。特に時間。
気候がよく過ごしやすい。日本食や日本の物が何でも揃うので安心してください。
目的をしっかり持っていればよいかも。経験としては人間を大きくするかも
自分らしくエンジョイしよう



## 9. まとめ

移住という今回のテーマで見えてきたのは人それぞれで感じ方が変わるということがわかる。

タイの暮らして感じた長所・短所で顕著に現れている。例えば人がおおらかでアバウトなところが好きと答えた方がいる反面、適当なところ・いい加減ところが嫌だと回答される方がいる。これは見方を変えるだけで短所も長所に見えてくるのでしようね。

又、移住を決意されたきっかけは海外で仕事をしたい、移住をしたいという自身の強い思いで行動されたことが伝わる。渡航経験は少なく中には0回で海外旅行の経験もなく、オペレーターとしての経験もなく、現地の語学力もほとんどないが移住をされていることにとっても強い決意があったことが感じられる。

これからこられる方でタイにこられたことのない方はどんな決意と思いで来られるのかな？

料理が美味しく、天候は暖かく、人は穏やかな人が多いが感じかな。

“郷に入れば郷に従え”のように今居る場所の流れに逆らわなければきっと素晴らしい移住生活があるでしょう。

いずれにしろ、皆さんの見方や感じ方で長所にも短所にも見えます。バンコクで快適に過ごすにはみなさんの気持ちの持ち方で一つです。

